

【別紙】 採点基準

委員審査		提案内容が 3点:大変優れている 2点:優れている 1点:普通である 0点:劣っている
項目	基準	配点 3点×7人
子ども・若者の現状把握と支援の考え方		
	社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の現状と課題について	
①	国の動向を踏まえ、子ども・若者の現状と課題を十分理解している	21
	子ども・若者支援の理念や考え方が適切である	21
	本市の現状と課題を十分理解している	21
居場所・社会経験の場の提供		
	ふれあい・交流サロンの開設	
②	実施方法が具体的で実効性がある	21
	気軽に立ち寄れる工夫がある	21
	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	21
	生きづらさを抱える子ども・若者の居場所	
③	実施方法・支援内容が具体的で実効性がある	21
	利用への誘導に工夫がある	21
	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	21
	社会経験等の推進	
④	実施方法が具体的で実効性がある	21
	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	21
	地域と連携した文化・交流等ができるような提案内容となっている	21
	自学・自習の場の提供	
⑤	実施方法が具体的で実効性がある	21
	子ども・若者の学習意欲の向上・学習の習慣化を図るような提案内容となっている	21
相談・保護者支援		
	子ども・若者と保護者等の相談窓口の開設	
⑥	実施方法が具体的で実効性がある	21
	本人や保護者に対するプライバシーへの配慮が適切である	21
	保護者支援の実施	
⑦	実施方法が具体的で実効性がある	21
	保護者同士のつながりを深める提案内容となっている	21
関係機関との連携		
	子ども・若者支援団体との連携	
⑧	実施方法が具体的で実効性がある	21
	市・学校・地域との連携	
⑨	連携体制や支援方法が具体的で実効性がある	21
その他		
	職員等の人材育成	
⑩	実施方法が具体的で実効性がある(人権意識啓発を含む)	21
⑪	実施方法が具体的で実効性がある	21
	独自の事業提案	
⑫	実施方法が具体的で実効性がある	21
	考え方に、積極性・独自性・発展性がある	21
事務局審査		配点
	業務実績調書	
	団体の業務実績は豊富か(同種業務ごとに3点、類似業務ごとに2点加点)	15
	業務実施体制	
	業務従事者の経験は豊富か(業務ごとに1点・経験年数3年以上でさらに1点、活動ごとに1点加点)	10
	人員体制は充実しているか (相談コーディネーター、支援員各1人追加ごとに3点、スタッフ1人追加ごとに2点加点)	6
	市内企業・NPO・市民団体育成	
	市内に事業所がある	5
	見積書	
	全候補者のうち、最低見積金額を提示した候補者を60点とする。 2位以下については、(参加業者中最低見積額/各社見積額)×60点(小数点以下切り捨て)	60
合計		600